

うるわし延岡

—住みやすい街へ—

佐藤悠高,喜多駿之介,川崎なごみ,杉本愛佳
延岡高等学校 Nobeoka High School

Abstract

私たちの暮らしを豊かにするには、大元の延岡市の経済を豊かにするべきだ。延岡市の歳入額を増やすことができれば、経済が発展したと言えるだろう。比較対象都市と延岡市を、まずは財政力指数を用いて比較した。この研究では、比較対象都市として人口面と化学産業で延岡市と似た特徴を持つ山口県周南市を指定した。延岡市を周南市と比較した結果、延岡市の歳入額増加に必要なのは本社を含めた企業数の増加であるとわかった。また、考察として、企業数の増加に関連して、企業誘致やそれによる人口増加の面を鑑み、交通機関の整備や公共施設面の改善などが必要だと考えた。これからさらに延岡市の経済発展における様々な課題を見つけ、その課題に対する対策を見つければ延岡市の経済の発展に繋がるだろう。

Keyword 財政力指数/税/交通/街作り

1. 序論

(1)研究背景

将来、延岡市で生活していくにあたって、街全体で経済面を豊かにできれば、住民の経済状況も良くなり、より住みやすい街になるのではないかと考えたため。

(2)研究の目的(or動機or意義)

この研究を通して、今の延岡市が経済を発展させるのに足りないものを知り、その対策を提案することで、私たち市民や自治体のより積極的な財政や経済への参加を促し、身近な暮らしでの経済状況の向上を図るため。

(3)定説

今回、延岡市と比較対象の都市とを比較するにあたって、財政力指数を用いた。

財政力指数とは、財政収入額を財政需要額で割った数値の過去3年間の平均値のこと、地方公共団体の財政状況を表すものである。数値が大きいほど経済が豊かであり、数値0.7～0.8が理想とされている。また、数値が1を上回ると、国に補助が必要ないほど経済が豊かだと判断され、普通交付金が交付されなくなる。

(4)研究仮説

延岡市と似た自治体を財政力指数を用いて延岡市と比較して、何が延岡市に足りないのか調べれば、経済発展のために延岡市が取り組むべき課題が見つかるのではないか。

※似た自治体…人口、産業、面積などの面で似通っている自治体のこと。

2. 研究方法

- ①他自治体の財政力指数を調べる。
- ②延岡市と比較する。(周南市と比較)
- ③延岡市より数値が上であれば何が違うのか調べる。
- ④調べた結果を延岡市にも取り入れられるか検討する。
- ⑤延岡市にも取り入れるよう提案する。

3. 結果

財政力指数: 延岡市→0.46、周南市→0.76～0.82

⇒周南市の方が財政状況が良い。

また、延岡市と周南市の双方とも税収が歳入額の大部分を占めていた。よって、税収の内訳の差分が延岡市と周南市の財政力の差を表していると考察し、その内訳を調査した。

税収内訳	周南市	延岡市
個人分	29.5%	29.8%
法人分	14.7%	9.3%
固定資産分	46.5%	42.5%

内訳は主に、個人分、法人分、固定資産分が占めていた。この通り、法人分と固定資産分で差があることがわかる。

法人とはいわゆる会社のこと、固定資産とは工場や固定機器などのことである。法人分に限っては、本社がある市町村区に税収が入る仕組みになっている。

4. 考察

結果より、工場が必要な産業(化学工業など)の企業を誘致することが、延岡市の歳入額を増やす要因になると考察した。なお、法人分の税収の増加のためには、本社込みでの企業誘致をする必要がある。

また、企業誘致にあたって、誘致のための土台作りや就職先の増加による人口増加などの影響を考慮し、公共面での自治体のサポートが必要だと考察した。

以下、公共面を交通面と施設面の二つに分け、それぞれどのようなサポートが効果的か考察する。

●交通面

延岡市と周南市の交通状況を比較した。

	延岡市	周南市
高速道路	有	有
高速道路の数	2本	2本
ICの数	7個	4個
新幹線	無	有
在来線	有	有
在来線の路線数	1本	2本
路線バス	有	有
路線バスの路線数	23本	28本
フェリー	有	有
フェリーの路線数	1本	4本
空港	無	無
空港までの所要時間(公共交通機関)	1時間11分	42分
平日の日中の交通量(渋滞)	約1~2万台	約2~3万台
優れている数	3つ	5つ

↑延岡市と周南市の交通状況の比較

交通状況においては、延岡市と周南市との間であまり差がないと考えられる。しかし、新幹線の有無においては市の経済状況に大きく影響を与えていた可能性がある。そこで新幹線を建設した場合の利点について考察した。

※新幹線建設の効果について

・観光客、ビジネス客の増加→ホテルの増加

・大都市への移動が簡単になる。(延岡一博多間の所要時間の調査結果 現状4時間14分 1時間15分~3時間15分 ルート次第では広島、新神戸、新大阪への所要時間も短縮されるかもしれない。)

・九州新幹線開業後、JR九州の鉄道収入が増加。

・企業の誘致

→2022年9月に開業した西九州新幹線では観光客の増加や企業誘致などで約193億円の経済効果を生み出した。

●施設面

施設面において延岡市と周南市を比較

↓

教育施設やスポーツ施設、商業施設や公園などの子育てに必要な施設数が周南市の方が多くあることが分かった。

⇨子育てに特化した街作りを行い、働く親が安心して子どもを産み育てられる環境を充実させることで移住者を増やし人口増加をはかる。(人口が増えると経済効果が期待できる)

※子育てに特化した街作りを行ったことで移住者が増え、人口が大きく増加した自治体の例

例)長野県南箕輪村

→移住者が73%近くを占めている。

[南箕輪村の主な人口増加の要因]

・子育て支援センターの設立や保育料の引き下げなど、子育てに優しい街作りが実施されている。

・宅地の価格が近隣自治体に比べて低く、住宅を持ちやすい。

・交通の利便性や平坦な地形などの立地条件に恵まれている。

・中央アルプス・南アルプスの山々をのぞむ豊かな自然環境がある。

南箕輪村では、このような子育てのための施設整備や取り組みの他にも、育児からの復職を希望する女性などと地元企業とをマッチングし、職業復帰の手助けを行う事業にも力を入れるなど、働きたい女性への支援も行っている。

このように、子育てに特化した街づくりを積極的に行い、制度や事業を充実させることで企業誘致の効果と相互に影響し合い、より経済効果が期待できると考えた。

5. 結論

延岡市の歳入額の増加に必要なのは、化学工業など、工場を必要とする産業の、本社を含めての企業誘

致であることがわかった。また、交通面や施設面でも周南市と比較したところ、企業誘致のための土台作りや、誘致による影響(人口増加や増えた財源の使い道など)の対策も新たに必要になると考察した。

企業誘致の土台として、周南市と比較したところ、交通面では新幹線の建設が効果的ではないかと考えた。実際に最近運行開始した西九州新幹線では、企業誘致や観光客の増加により多大な利益を生み出している。よって、実現の可能性は今は低いが、延岡市の財政を潤すには効果的だと考えられる。

また、企業誘致の影響により人口増加が考えられる。その対策として子育てに特化した街づくりや制度を整えることが必要になると考察した。この制度により人口増加による経済の活性化、さらなる企業誘致の進行などが期待できる。

他にも企業誘致を目標とした際には、さまざまな取り組みが必要になると考えられる。今後はそういったことにもさらに視点を向けながら、企業誘致以外でも延岡市の歳入額の増加につながるものはないか調べていきたい。

6. 謝辞

私達の研究に携わってくださった春田かおる先生、アドバイザーの小野雅史様、どのようにして都市と都市を比較するのか、どのような項目で較するべきかなどをアドバイス、そして指導していただきありがとうございました。

○JR九州ホームページ

<https://www.jrkyushu.co.jp/company/info/data/seiseki.html>

○宮崎県のホームページ

<https://www.pref.miyazaki.lg.jp/sogokotsu/kurashi/koitsu/20241126082128.html>

○長崎新聞「経済効果193億円 西九州新幹線 長崎を訪れた観光客103万人」

<https://www.nagasaki-np.co.jp/kijis/?kijiid=221a3cd17bfd4bcf98200b08e7057136#:~:text=10%3A55%5D%20%E5%85%AC%E9%96%8B-,%E7%B5%8C%E6%B8%88%E5%8A%B9%E6%9E%9C%EF%BC%91%EF%BC%99%EF%BC%93%E5%84%84%E5%86%86%20%E8%A5%BF%E4%B9%9D%E5%B7%9E%E6%96%B0%E5%B9%B9%E7%B7%9A%20%E9%95%B7%E5%B4%8E%E3%82%92,%E8%A6%B3%E5%85%89%E5%AE%A2%EF%BC%91%EF%BC%90%EF%BC%93%E4%B8%87%E4%BA%BA&text=%E9%95%B7%E5%B4%8E%E7%9C%8C%E3%81%AF%EF%BC%92%EF%BC%97%E6%97%A5,%EF%BC%91%EF%BC%90%EF%BC%93%E4%B8%87%E4%BA%BA%E3%81%A0%E3%81%A3%E3%81%9F%E3%80%82>

7. 参考文献

○チャットGPT

○延岡市のホームページ

<https://www.city.nobeoka.miyazaki.jp/uploaded/attachment/15938.pdf>

<https://www.city.nobeoka.miyazaki.jp/uploaded/attachment/17546.pdf>

○周南市のホームページ

<https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/uploaded/attachment/193176.xlsx>

○財政力指数について

○パフェット・コード